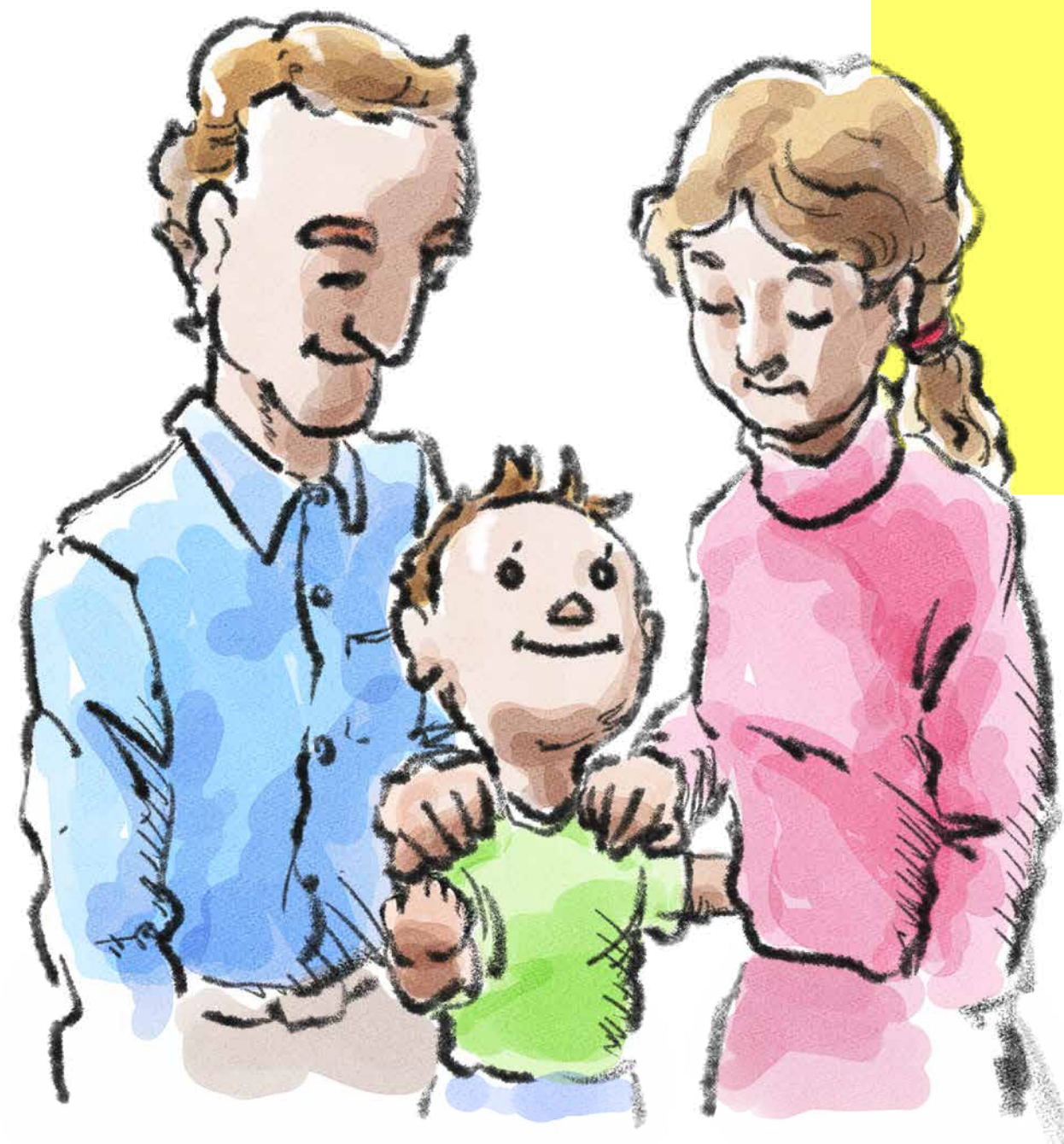
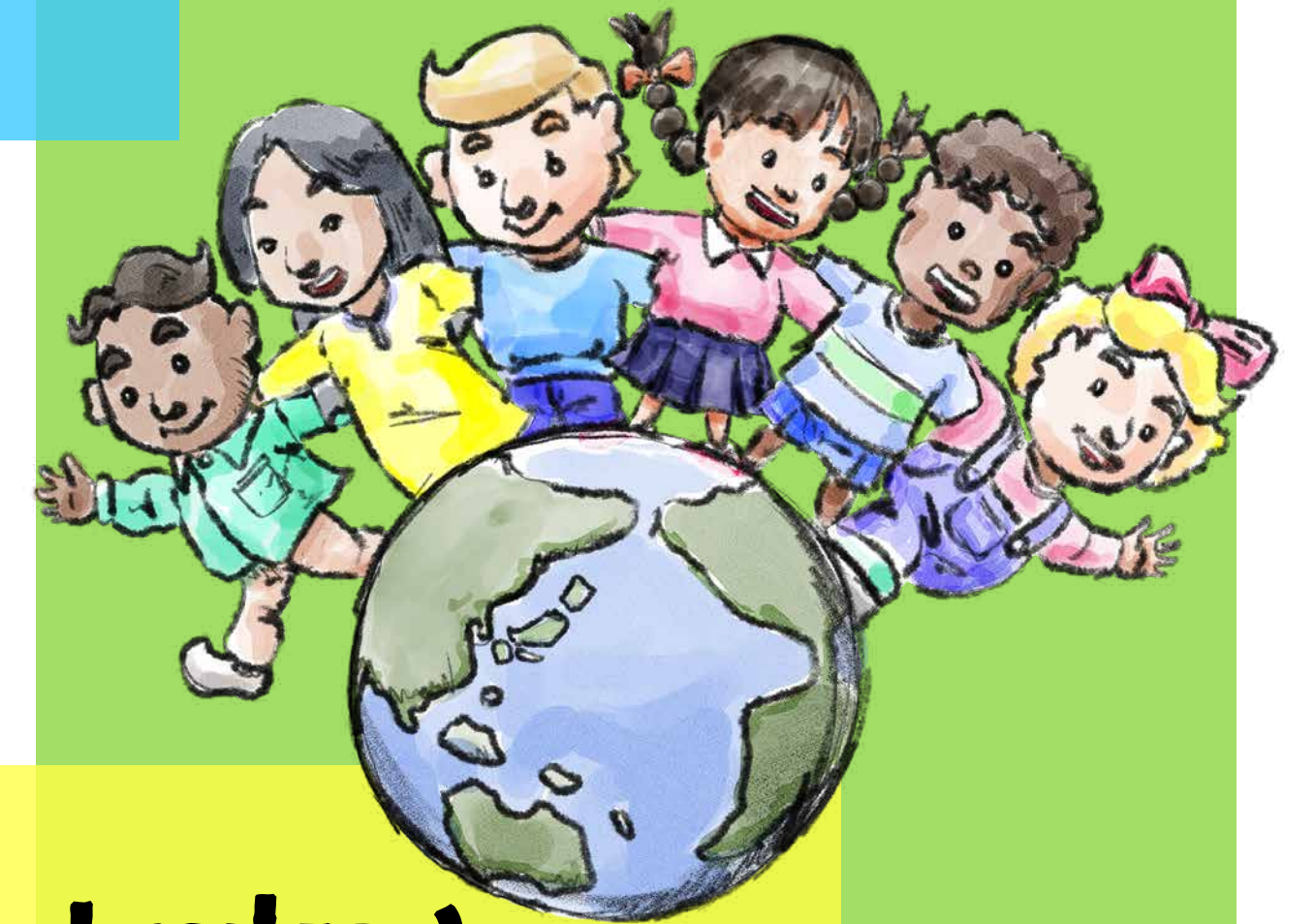


テーマ別研修

入園受入れ時の対応と
保護者支援



はじめに

【本講座の目的】

- 1 外国人保護者を支え共に歩むための基礎知識を学ぶ
- 2 受入れ時の準備や入園後の生活における配慮を学ぶ

【キーワード】

入園受入れ時の支援 外国人保護者を支える・支え合う関係づくり

【本講座の構成】

- 1 外国人保護者と関わる中で気付いたこと・工夫したこと
- 2 入園受入れに当たっての準備や配慮
- 3 安心できる関係を築くための工夫や配慮
- 4 母語や家庭の文化を大切に
- 5 地域の中で支え合う関係づくり

1

外国人保護者と関わる中で
気付いたこと・工夫したこと

1-1 多くの外国人幼児等を 受け入れている園長先生にインタビュー

多くの外国人幼児等を受け入れている東京都台東区立竹町幼稚園の足立祐子園長先生から、外国人保護者と関わる上で、気付いたり、工夫したりしていることについてお話していただきます。



足立 祐子

東京都台東区立竹町幼稚園 園長



【主な質問内容】

- 園長として驚かされつつ受け止めた事例
- 外国人保護者に園の教育や生活を理解していただくための工夫
- 外国人保護者を受け入れて、園の教育を見直したり、改善したりしたこと
- 多様性を受け止める園運営を行う中で、園長先生が大切にしていること

聞き手：若槻 容子

公益社団法人 全国幼児教育研究協会

1-2 外国人保護者と関わるときの配慮点

- ・ 日本の習慣と外国の習慣の違いへの配慮
- ・ 外国人保護者の心情への理解
- ・ 多様性を受け止める園運営
- ・ 様々な国に親しむチャンスにする

Q1 話を聞いて感じたことや考えたことについて話し合いましょう。思い当たることや、共感したことはありますか？

Q2 外国人保護者から要望等が寄せられた時の対応のポイントについて、様々な視点から考えてみましょう。

2

入園受入れに当たっての
準備や配慮

2-1 保護者の気持ちを想像してみよう！



外国人保護者の心情を理解しようとする姿勢が大切

2-2 受入れにおける基本姿勢



【課題】

外国人幼児等やその保護者と出会い、共に園生活を始めていくために大切にすることは？



【対応】

- 相手（子供や保護者）を**理解しようとしている保育者の姿勢**が、相手に伝わるように。**温かな雰囲気**で対応する。
- 相手の持つ文化的な背景を踏まえることが大切。**文化、習慣、宗教等の違いを尊重し配慮する。**
- **園での生活のルール（言語・習慣など）を家庭に押し付けない。**

2-3 「言葉が通じない」を乗り越えるために

【課題】 外国人保護者やその代理人から入園希望が寄せられましたが、保護者と言葉が通じない場合、入園手続きの説明から戸惑うこともあります。そのようなときにどうすればよいかを中心に考えましょう。

日本語が
どのくらい分かる？

日本語が分かる人と
一緒に来られる？

① 本人が信頼を寄せる知人を連れてくる時

▶▶ 安心感を得られる望ましいケースとして歓迎する。

② 自治体に通訳サービスがある時

▶▶ 利用できることを伝え、利用希望があった時には派遣申請をする。

③ 自治体に通訳のサービスがなく他の協力も得られない時

▶▶ 音声通訳機や母国語に翻訳された資料を準備する。

◆ 本人の意思を確認して対策を講じる。

◆ 通訳が同席する場合は、個人情報取り扱いに留意する。

◆ 同席する通訳者ではなく、本人を見て話す。

2-4 保護者に聞いておきたいこと

【目的】

- 幼児の状況を知る
- 保護者の願いを把握する

【確認する内容の例】

- ・ 成育歴(来日年齢と滞在期間)
- ・ 家庭内での言語、日本語の使用状況等
- ・ 配慮事項(食習慣、生活習慣等)
- ・ 本名と呼称、保護者本名と呼称
- ・ 緊急時の連絡方法(日本語が通じる人等)

保護者の声に耳を傾けようとする姿勢を示す。

受入れ時に全てを聞いたり、合意を得ようとせず大まかに聞き取る。園生活を重ねて、親しくなっていく中で、詳しく聞いていくようにする。

安全な園生活を送っていただくために緊急時に日本語で連絡が取れる人の情報は必ず得るようにする。

2-5 保護者に伝えたいこと

【説明する内容の例】

- ・園生活の1日の流れ(預かり保育も含む)
- ・登降園の方法
- ・給食や弁当の対応
- ・制服、当面必要な持ち物等
- ・保護者が参加する行事等
- ・園で必要となる費用
(給食費、PTA会費等)

行事の写真や持ち物の実物等を活用する。

説明内容が伝わったかどうかを保護者の表情などから捉える。

園のルールを押し付けない、という姿勢を貫く。

集金関係の説明は、誤解を招きやすいので確実に伝える。

2-6 入園説明資料の参考例

分かりやすく解説している準備資料の例

【ポイント】

- ・伝えたいことを短く明確に記載する。
- ・説明にはルビをふる。
- ・実物の写真を掲載する。

8 かてい じゅんぴ ご家庭で準備するもの

こ ようちえん も み なまえ か
 お子さん幼稚園に持ってくるもの、身につけてくるものにはすべて名前を書いてください。

<p><small>てふき</small> 手拭タオル</p>	<p>ループ (フックに<small>か</small>掛けられるようにしてください。)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンドタオルの大きさのものを用意してください。 ・毎日持ち帰りますので、洗濯をして次の日に持たせてください。 ・お弁当のない日も持たせてください。
<p>コップ <small>い</small> コップ入れ</p>	<p>プラスチック製 <small>せい</small> (持ち手付) <small>てつき</small></p>  <p>コップの出し入れが <small>おほ</small> しやすい大きさ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・うがいをしたり、麦茶や水を飲んだりする時に使います。 ・毎日持ち帰ります。洗って次の日に持たせてください。
<p><small>つうえんぐつ</small> 通園靴</p> <p><small>うわば</small> 上履き</p>	  	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>通園靴は運動靴で、自分で脱いだり履いたりできるもの</u>にしてください。 ・ひもで結ぶものやサンダル、革靴、ブーツ、クロックスは、やめてください。 ・<u>上履きは週の最後の日</u>に持

2-7 活用できる情報紹介

資料1 豊富な資料を掲載 愛知教育大学 外国人児童生徒支援リソースルーム

<https://resource-room.nihongo.aichi-edu.ac.jp/about/guidebook/>

幼稚園・保育園ガイドブック

多様な国の言葉で翻訳されたガイドブック 掲載

日本の幼児教育の基本的な在り方を説明するのに活用できます！



幼稚園・保育園ガイドブック (ポルトガル語) 

幼稚園・保育園ガイドブック (スペイン語) 

幼稚園・保育園ガイドブック (タガログ語) 

幼稚園・保育園ガイドブック (中国語) 

幼稚園・保育園ガイドブック (ベトナム語) 

幼稚園・保育園ガイドブック (英語) 

2-7 活用できる情報紹介

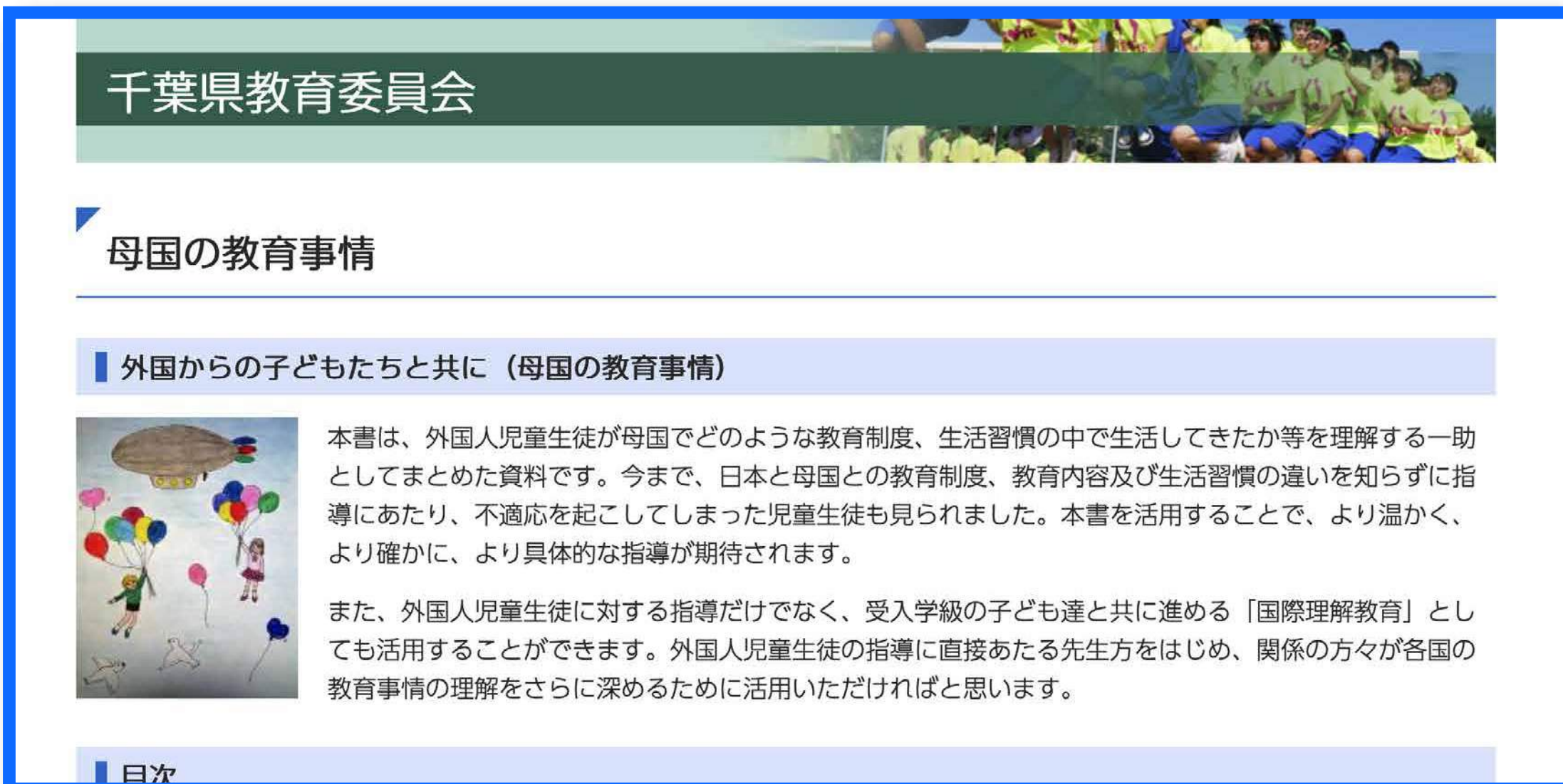
資料2 外国人幼児の母国の教育事情や国の様子についての情報が掲載 多くの国の情報を紹介

母国の教育事情（千葉県教育委員会）

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/gaikokujin/gakkou-sensei/bokoku.html>

知りたいな友だちの国のこと（千葉県教育委員会）

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/gaikokujin/gakkou-sensei/tomodachi.html>



千葉県教育委員会


母国の教育事情

外国からの子どもたちと共に（母国の教育事情）

本書は、外国人児童生徒が母国でどのような教育制度、生活習慣の中で生活してきたか等を理解する一助としてまとめた資料です。今まで、日本と母国との教育制度、教育内容及び生活習慣の違いを知らずに指導にあたり、不適応を起こしてしまった児童生徒も見られました。本書を活用することで、より温かく、より確かに、より具体的な指導が期待されます。

また、外国人児童生徒に対する指導だけでなく、受入学級の子ども達と共に進める「国際理解教育」としても活用することができます。外国人児童生徒の指導に直接あたる先生方をはじめ、関係の方々が各国の教育事情の理解をさらに深めるために活用いただければと思います。

目次



千葉県教育委員会

知りたいな友だちの国のこと

内容の紹介

本書は『外国からの子どもたちと共に（母国の教育事情）』の児童生徒用という位置づけで作成しました。外国人の子どもたちを学校に受け入れる際に、日本語指導担当教員や学級担任、補助者等の果たす役割が大切であるのと同様に、クラスメートである日本人の子どもたちの協力も大切です。

日本人の子どもたちと外国人の子どもたちが、互いの母国の学校や生活習慣について知ることができるように、「日本」の項目を追加し、すべての漢字に仮名を振っており、各国の簡単な言葉について知ることができます。子どもたちの国際理解を進める資料としても活用いただければと思います。

Q3 言葉の通じない外国人保護者には、どのように対応してきましたか。

Q4 紹介された資料等を見て参考になったことはどのようなことですか。今後取り組んでみようと考えたことを話し合いましょう。



安心できる関係を
築くための工夫や配慮

3-1 毎日の関わりを積み重ねる

【課題】 外国人幼児等と保護者が園生活に慣れ、安心して過ごせるようになっていくために、どのような関わりを重ねていけばよいか、具体的に考えてみましょう。

- ① 母国の宗教や文化、食事等について情報を収集する。その国の言葉を掲示したり、母国の絵本を子供たちが手に取れるようにする。
- ② 笑顔で挨拶するなどの関わりを重ねる。
- ③ 降園時に、その子が楽しんだ様子が分かる写真や動画を見せ、元気に園で過ごしていることを実感できるようにする。
- ④ 翻訳アプリなどを活用して、家庭での様子や保護者が感じていることを聞かせてほしい、と思っている保育者の気持ちを示していく。



保育者の働きかけが、家庭内の会話につながります。

3-2 双方向でやりとりできる機会をつくる

【課題】 入園して数ヶ月経過し園生活に馴染んできた頃に、双方向のやりとりをする機会を設定し、理解し合う関係づくりにつなげたい。

例：個人面談の実施

【目的】 園での様子を伝えたり家での様子を聞いたりして理解し合う。

【準備】 面談の実施を伝え、本人が通訳できる人と一緒に来るか、自治体に「通訳サポート」がある場合は利用するかについて本人の意思を確認する。

【当日】

- ・ 通訳や音声翻訳機などの力を借りながら、家庭や園での様子を共有する。
- ・ 遊んでいる様子が分かる写真や動画、製作物等を活用し語り合いのきっかけにする。
- ・ 母国の言葉や文化への興味を示し、交流していきたい気持ちも伝えていく。

3-3-1 楽しく園行事に参加できるように

【課題】 保護者が参加する園行事（運動会、親子遠足、保育参観など）の趣旨を理解して楽しく参加できるようにするための配慮や援助について考えましょう。

例：保育参観を実施

【目的】

- ・園生活の実際を参観し、我が子の様子を見たり、保育者と話したりすることで安心感をもつ。
- ・他の保護者の話を聞いたり、自分も話したりすることで、親しみをもつ。

お知らせの工夫

「保育参観」の目的や集合場所、時間、園行事の内容を分かりやすく伝える。

→工夫例を紹介

保護者の要望

「知り合いの人（通訳できる人）と一緒に」など、保護者の要望を受け入れ安心して参加できるようにする。

当日の対応

参加して「楽しかった」「よかった」という思いが残るように、参加の様子を捉え、必要に応じて声をかけるなどしてよい経験につなげる。

3-3-2 お知らせの工夫例

【課題】伝えたいポイントを絞って伝えるのにはどうすればいいの？

工夫1 大事なところに **DAIJI** マーク、アンダーライン！

DAIJI マークを指差しながら説明すると、ここが大事ということが伝わりやすい。

保護者の皆さま

○ ○幼稚園長
○○ ○○

保育参観の実施について

肌寒い日が続きますが、子供たちは様々なごっこ遊びや造形活動などを楽しんだり、遊戯室では存分に体を動かして遊んだりしながら幼稚園生活を楽しんでいます。その園生活の様子を、下記の日程で保護者の皆様にご覧いただきたいと思ひます。

DAIJI

遊びの中で、子供たちが友達とかかわりながら自分の思いを伝えたり、遊びをつくり出したりしている姿を見ていただき、子供の成長をともに喜びたいと思ひます。

記

1 日時 令和3年11月16日(火) 9:30~10:30

2 当日の保育の流れ

- ・年少組 好きな遊び、(10:00~遊戯室で) 表現遊び
- ・年中組 好きな遊び、(10:00~保育室で) 空き箱製作
- ・年長組 遊園地ごっこ (10:00~保護者の方も、遊園地ごっこに参加できます)

DAIJI

3 その他

- ・保育時間は通常と変わりませんので、子供には、弁当を持たせてください。
- ・保護者の方は、9:00から9:30まで、遊戯室で待つこともできます。
- ・保護者用の上履き(スリッパ等)を持参してください。

DAIJI

3-3-2 お知らせの工夫例

【課題】伝えたいポイントを絞って伝えるのにはどうすればいいの？

工夫2 ルビをふる

- 日本語に親しみ始めた保護者が、自分で読めるようにルビをふる。
- 手紙を示しつつ保育者が読み上げることも効果的

ほごしゃ みな
保護者の皆さま

令和3年11月9日
○ ○幼稚園長
○○ ○○

ほいくさんかん じっし
保育参観の実施について

はだざむ ひ つづ こども さまざま あそ ぞうけいかつどう たの そんぶん
肌寒い日が続きますが、子供たちは様々なごっこ遊びや造形活動などを楽しんだり存分
からだ うご あそ ようちえんせいかつ たの えんせいかつ ようす か
に体を動かして遊んだりしながら幼稚園生活を楽しんでいます。その園生活の様子を、下
き について ほごしゃ みなさま らん おもい
記の日程で保護者の皆様にご覧いただきたいと思ひます。

あそ なか こども ともだち じぶん おも つた あそ だ
遊びの中で、子供たちが友達とかかわりながら自分の思いを伝えたり、遊びをつくり出
すがた み こども せいちょう よろこ おも
したりしている姿を見ていただき、子供の成長をともに喜びたいと思ひます。

記

1 日 時 令和3年11月16日(火) 9:30~10:30

2 当日の保育の流れ

3-3-2 お知らせの工夫例

【課題】伝えたいポイントを絞って伝えるのにはどうすればいいの？

工夫3 簡単な日本語で「これだけは！」を知らせる

「Aちゃんの」と名前を書くと我が子のことだと分かる。

何をするのか、を分かりやすく伝える。

自分と一緒に来て一緒に帰ると思いがちなのでこの一文を加える。

(保護者の皆さま)
Aちゃんの ほごしゃさま

令和3年11月9日
〇〇〇幼稚園長
園長 〇〇〇〇〇

(保育参観の実施について)

こどもたちが ようちえんで あそぶようすを みにきてください

Aちゃんが、にほんごをおぼえて、ともだちと あそぶすがたをみてください。
いっしょに おはなししましょう。

記

- 1 ひにち と じかん
・11がつ16にち(かようび) 9:30~10:30
- 2 あそびの よてい
・ゆうえんちごっこ (10:00~ほごしゃも、さんかできます)
- 3 そのほか
・Aちゃんがようちえんにくるじかんは、9:00、かえるじかんは、14:00です。
・べんとうを もたせてください。

3-4 保護者同士の関係を築く：一人一人に応じた関わり

【課題】 外国人保護者が力を発揮したり他の保護者と親しんだりできるようにするためには、どのような配慮をしていけばよいでしょうか。

- 【工夫例】**
- ・ 園だよりに各国の遊びや歌、料理の紹介コーナーを設置
 - ・ 外国人保護者が講師となり「料理講習会」「外国の文化に触れる会」実施
 - ・ 日本での生活に疲れている様子が見られたら他機関に相談、連携

関わりたい保護者、関わりを好まない保護者など、在り方は様々。一人一人に応じた関わりが大切。

他の保護者の自発的な関わりを尊重する。親同士の関係を支える。

日頃から地域の支援グループの情報を収集するなど関わりをもっておく。

Q5 外国人幼児等やその保護者が安心して過ごせるようにするために配慮することや対応することについて、自分の園では何ができるか、具体的に考え合ってみましょう。

4

母語や家庭の文化を大切に

4-1 親子のコミュニケーションも豊かに

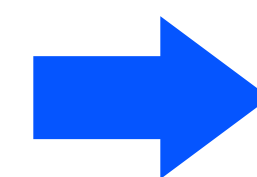
母語では存分に思いを話し、伝え合うことができます。家庭においては、母語で【課題】 コミュニケーションを楽しんだり一緒に考えたりする機会を大切にしてほしい。そのために何をすればいいのでしょうか。

シャボンが
いっぱいできたよ。
お友達にいっぱい
かけちゃった。



シャボンをいっぱい
かけたって、どうい
うこと？ お友達を困らせ
たんじゃないしら？

園生活が分からない



不安

4-1 親子のコミュニケーションも豊かに



うん。喜んでいたよ。
こうやってやるの。
見てて!

先生から写真を見せてもらったわ。
楽しかったのね。
よかった。
お友達も喜んでくれたのね。

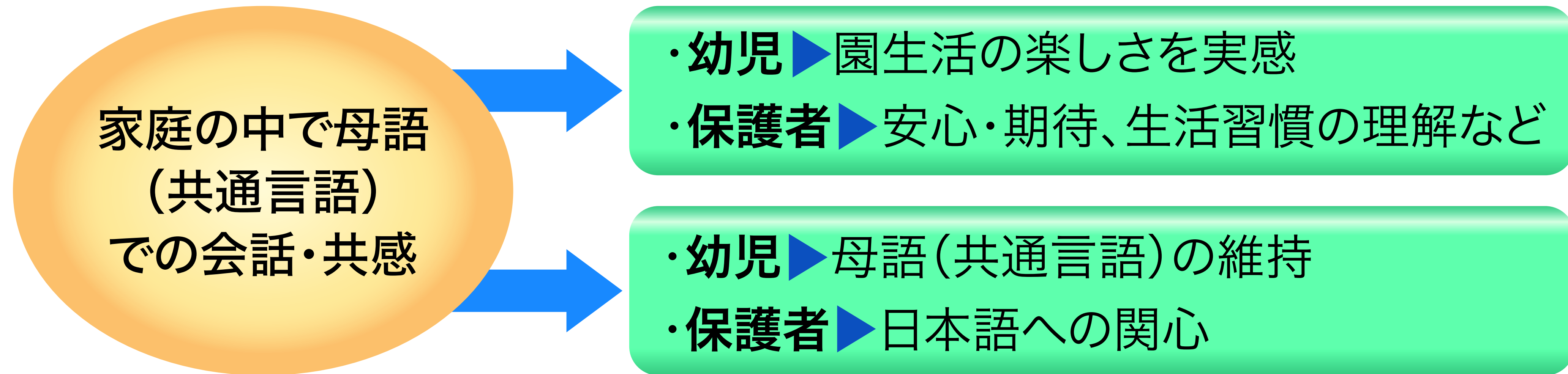
写真を使って、保護者に園生活の様子を知らせることで、子供の言うことが理解できるようになる。

園生活を理解

安心感・信頼感

家庭での親子の会話(母語)が弾む

4-2 家庭では母語・アイデンティティの確立を



家庭での親子のコミュニケーションが家庭内の母語(共通言語)を習熟させ、子供のアイデンティティを育む重要な機会となる。

Q6 園によっては「家庭でもできるだけ日本語で話し、覚えさせてください」と求めることもあるようです。日本語が分からない保護者や母語を大切に感じている親子にとって、こうした働きかけはどのように捉えられると思いますか？

あ

地域の中で支え合う
関係づくり

5-1 日本で生活する乳幼児期の子供たちの周り

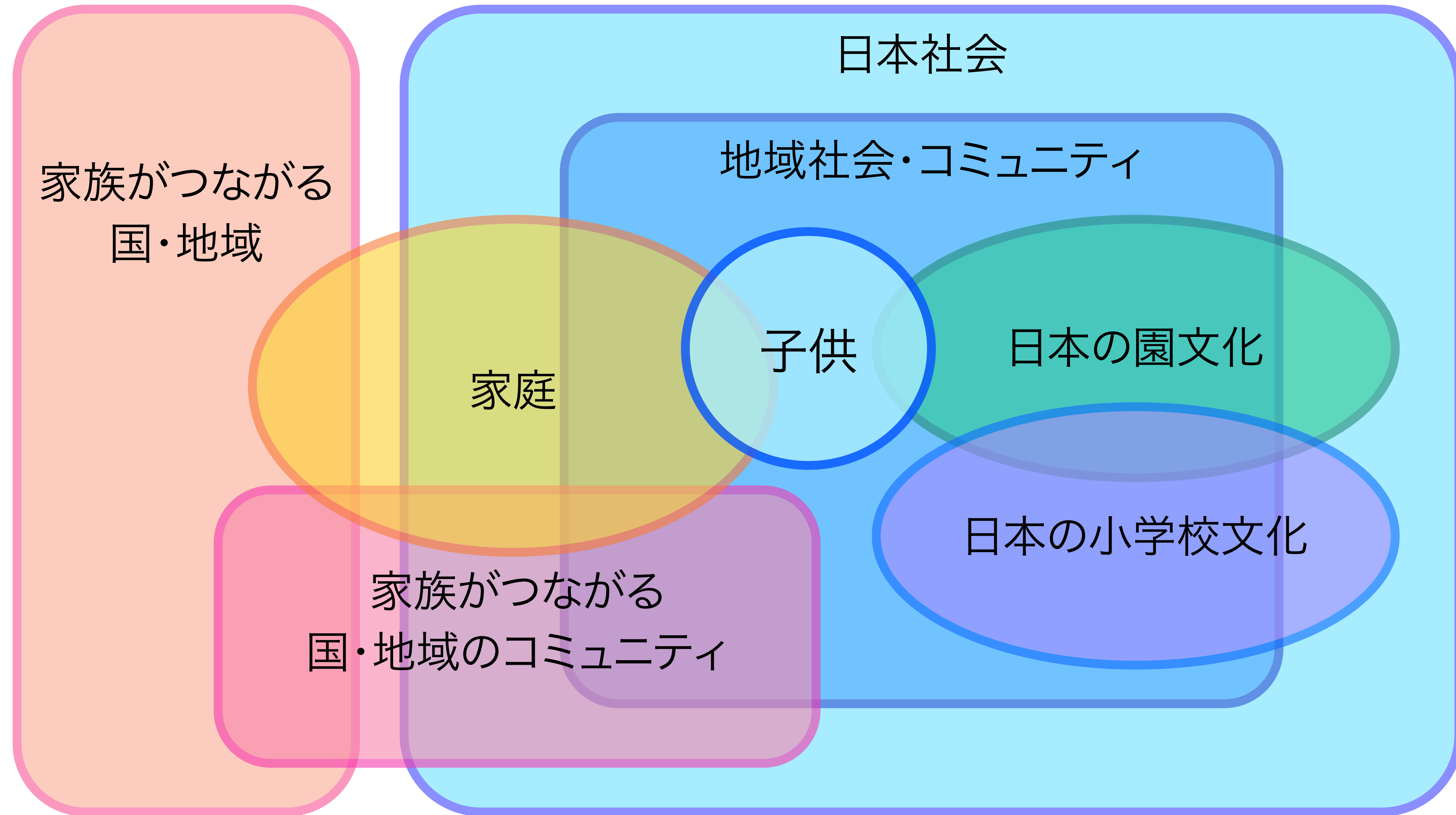
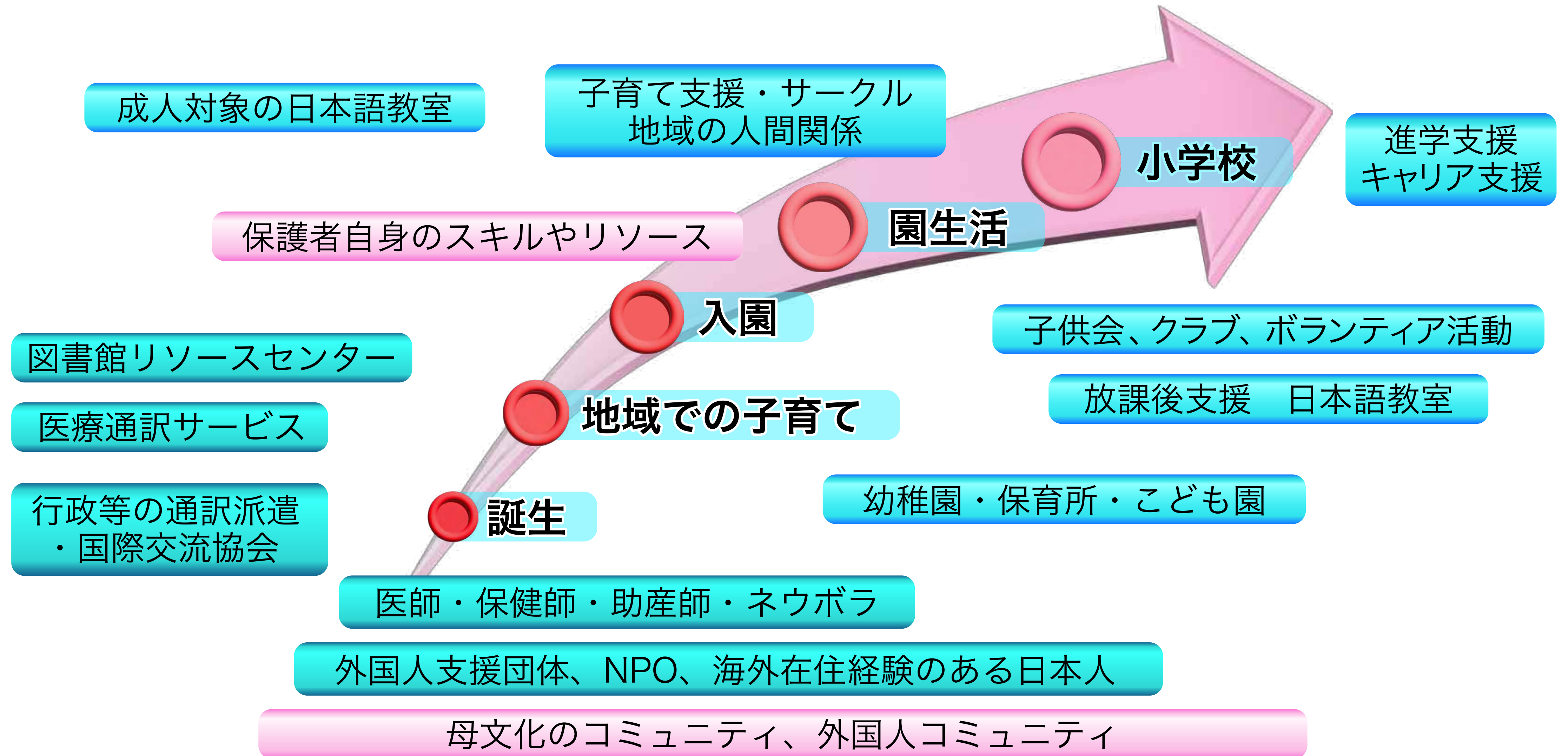


図5-1 子供の周りには様々な文化的集団と資源

5-2 子供の成長をとりまく地域資源



5-3 誰と連携したらよいか

外国人支援の NPO や団体、保健師、小児科医、子育て支援

小学校以上の日本語学習支援、放課後支援

行政、国際交流協会、地元の大学のリソースルームや図書館等

外国人コミュニティの集まる場所…宗教施設、お店、互助的な集まり

地域の他の幼稚園・保育所・こども園・子育て支援施設

Q7 あなたの園の地域で活用できるサポートはありますか？

Q8 どのようなサポートがあるといいと思いますか？

おわりに

- 外国人幼児等やその保護者との出会いは、様々な国の文化や言語に触れるチャンスです。出会いを喜び、歓迎する気持ちをもち、双方向のやりとりを大切にしていって豊かな経験が広がっていきます。
- 子供の成長を取り巻く地域資源について理解し、連携を進めていくことも大切です。
- 外国人保護者と共に歩む園生活の在り方、安心できる関係づくりなど、具体的な工夫を紹介しました。見終わって感じたことについて話し合ってみましょう。各園の状況や入園する外国人幼児等の実態に合わせて実践してみてください。